

令和5年8月4日開催

教育委員会会議録

福知山市教育委員会

- 1 開会の日時 令和5年8月4日(金)
午後1時30分
- 2 閉会の日時 令和5年8月4日(金)
午後3時02分
- 3 招集の場所 市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流スペース
- 4 出席委員の氏名 廣田康男
塩見佳扶子
和田大顕
加藤由美
織田信夫
- 5 福知山市教育委員会会議規則第4条により列席したもの
教育部長 垣谷敏数
教育委員会事務局理事 足立高広
教育総務課長 西躰一欽
次長兼学校教育課長 八瀬正雄
学校教育課担当課長兼教育総務課 八坂嘉展
学校教育課総括指導主事 中川清人
学校給食センター所長 村瀬勝子
生涯学習課長兼中央公民館長 岸見貴志
中央公民館管理担当次長 荻野幹雄
図書館長 山路智子
- 6 福知山市教育委員会会議規則第15条による会議録作成者
教育総務課長 西躰一欽

7 議事及び議題

別添のとおり

8 質問討議の概要

別紙会議録のとおり

9 決議事項

議第9号 原案どおり可決、承認

福知山市教育委員会会議規則第15条により署名する者

福知山市教育委員会 教育長

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

福知山市教育委員会 委員

教育委員会会議録調製者 教育部長

教育委員会会議録

1 開会

廣田教育長が開会を宣告。

廣田教育長 次に、現在のところはありませぬけれども、傍聴人から傍聴の申請がありましたら許可をしてもよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 許可をさせていただきます。

2 議事

(1) 議第9号(令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択について)

廣田教育長 ～資料に基づき説明～

議第9号「令和6年度以降使用小学校教科用図書の採択について」ですが、まず初めに採択に関わって、私から大きく6点につきまして説明させていただきます。その後、各教科への御意見をいただきたいと思しますので、よろしくお願ひします。

それでは、資料に基づいて説明をしますので御覧ください。

まず、1点目、教科書の採択の権限についてですが、教科書の採択は学校で使用する教科書を決定することであり、その権限は、公立学校で使用される教科書について、その学校を設置する市町村、都道府県の教育委員会にあります。国や私立学校で使用される教科書の採択の権限は校長にあります。そして、義務教育諸学校用の教科書は原則として4年間同一の教科書を使用することとなっております。

2点目、教科書として選ぶ場合、どのように選ぶかということですが、これは文部科学大臣の検定を経て、教科書目録に掲載された教科書の中から採択することになります。この教科書検定制度については、学校教育法により定められており、教科書の検定とは民間で著作・編集された図書について、文部科学大臣が教科書として適切か否かを審査し、これに合格したものを教科書として使用することを認めることとなります。

3点目、採択の方法については、義務教育である小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の小・中学部の教科書については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」によって定められています。そして、採択に当たっては、共同採択ということになります。市町村立の小・中学校で使用される教科書の採択の権限は、市町村教育委員会にあります。平成26年4月に改正されました「教科書無償措置法」により、都道府県教育委員会が設定した共同採択地区内の市町村教育委員会が協議をして、その地区内では同一の教科書を採択することになっています。この中丹地区においては、綾部市、舞鶴市、本市の各教育委員会が協議により規約を定めて共同採択を行うための中丹地区教科用図書採択協議会を設けています。その事務局は、三市の教育委員会が輪番で担当しています。今回については、綾部市教育委員会が事務局です。京都府教育委員会作成の選定資料を参考にしながら、学校の教員からなる調査員を置くなどして、独自に教科書について調査、研究

した上で、地区採択協議会の協議の結果に基づき、種目ごとに一種の教科書を採択することとしています。

「中丹地区教科用図書採択協議会」の協議に基づいて教科書の採択をするわけですが、最終的に決めるのは各市の教育委員会です。この場で協議した結果が過日の中丹地区教科用図書採択協議会での結果と異なる採択が決定されることになれば、再度、中丹地区教科用図書採択協議会を開催して協議し、地区内で同一の教科書を採択することになります。4点目、採択の時期につきましては、義務教育諸学校については、使用年度の前年度の8月31日までに行わなければならないとされており

ます。5点目、教科書展示会についてですが、都道府県教育委員会は学校の校長及び教員、採択関係者の調査・研究、住民の方の研究のために、6月から7月の一定期間、教科書展示会を行っています。府内12か所が展示場となっております。中丹地区においては、中丹教育局と舞鶴市教育委員会で展示をしています。

6点目、中丹地区教科用図書採択協議会を経てから、本日の採択までの流れについて報告をさせていただきます。

まず、第1回の中丹地区の教科用図書採択協議会は、令和5年5月25日木曜日の午前9時半から、京都府総合教育センター北部研修所の第2研修室で行われました。議事につきましては、令和6年度以降使用の小学校教科用図書採択に関わり、概要や日程等の打合せが行われました。代表調査員の打合せを、令和5年6月1日木曜日に行うこと。第2回、第3回の採択協議会の日程、この協議会の予算、そして代表調査員及び調査員の委嘱について。こういった内容の協議が行われました。

第2回採択協議会は、令和5年7月19日水曜日、午前9時半から午後4時半頃まで、京都府総合教育センター北部研修所の第2研修室で行われました。議事につきましては、経過報告や日程説明の後、代表調査員から小学校教科用図書、「社会」、「地図」、「生活」、「算数」、「音楽」、「理科」、「外国語」、「図画工作」、「家庭」、「保健」、「国語」、「書写」、「道徳」といった順に調査報告を受け、それぞれに質疑が行われました。

第3回採択協議会は、7月27日木曜日の午後3時から、京都府総合教育センター北部研修所の第2研修室で行われました。

議事としましては、前回の代表調査員の報告、そして採択基準を参考に、令和6年度以降使用の小学校教科用図書の特長点等に基づき、各委員の協議により、中丹地区教科用図書採択協議会としての採択を行いました。この採択をもとに、各市教育委員会での採択結果を、8月16日水曜日までに、事務局である綾部市教育委員会教育長宛てに報告することになっております。

また、令和6年度需要数については、9月1日金曜日を期限に、京都府中丹教育局長に報告することとなっております。

本日の教育委員会議での教科用図書の採択につきましては、調査員が調査研究に当たって用いる採択基準及び基本観点に基づいての採択を行います。

採択基準は3点示されています。

1点目として、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていることです。

2点目として、内容や構成が学習指導を進める上で適切であることです。

そして3点目として、使用上の便宜が工夫されていることです。それぞれの採択基準について、基本観点が示されています。別表1にて御確認ください。なお、「特別の教科道徳」については、別表2で御確認ください。

それでは、ただいまから教科書一覧に従って、国語科より意見を出していただき、採択・決定と順に進めさせていただきます。

では、国語についてお願いします。御意見はありませんか。

加藤委員

どの教科書もそれぞれの特色と良さがありまして大変迷いましたけれども、私は光村図書を推薦したいと思っています。その理由としては3点あります。

まず、全体的に学び方が定着するように、教科書全体が構造化されていると思います。

単元始めに、自ら問いを立てるようになっていて、目標には何をどのように学ぶのかの手だてを提示してありましたし、各単元の学習過程を同じにすることで、螺旋的に繰り返しながら学び方が定着している構成になっていると思いました。教えるのが大変分かりにくいのが国語科という教科ですので、学び方はとても大切であると思っています。読むだけでなく、読み方を学ばせていく手順が示されている構成がやはり必要であると思いました。福知山市の授業スタンダードにも通じるような授業過程であると思います。

2点目は、低学年では読み物教材を多く扱い、言葉に触れる機会を充実させて、中学年では特に説明文において、文章構成という型を学びやすい従来からの教材を配置して、そして高学年では新教材を多く扱っています。低学年、中学年で学びを生かして、自立した学びに向かえるように、この6年間を通して系統的に配置・配列されていると思いました。

3点目です。学ばせたい従来からの教材や文章構成の学びやすい教材が大変充実しているのが光村図書ですけれども、ほかにも学ぶ楽しさのある題材が多くあります。身近に取り組みやすいものから未来を生きる子どもたちに考えてほしい幅広い題材として、例えば防災、食品ロス、ユニバーサルデザイン、デジタル機器など、大変多彩に取り扱われていると思いましたので、光村図書を推薦したいと思いました。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

塩見委員

私は、ただいまの加藤委員の光村の推薦についての御意見に賛同するところが多いです。しかし、東書を推薦したいとも思い、迷っています。その大きな理由が1つと小さな理由が2つあります。

大きな理由は、東書は読むことの領域で、説明的な文章では現代的テーマや身近な題材が重視されていることです。例えばインターネットに関わる議論やプラスチックごみ問題、社会教育施設などです。また、デジタルノートの作り方や横書きのルールなど、児童が身につけておく基礎的・基本的事項を扱っています。これらは21世紀を生き抜く子どもたちに必要な内容だと思います。

小さな理由の1つは、単元で身につける力の必要性を実感させる手だてとして、児童のエラーモデルを示したり、4コマ漫画で表したりして、学びを深める工夫がしてあることです。

もう1つは、QRコードに簡単な説明があり、開く前に内容が把握しや

すくなっていることです。
以上の点でどちらを推薦するか迷っています。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 私は、加藤委員が推薦された光村図書を推薦させていただきたいと思
います。全体的な特徴として、巻末のほうに主体的な学習を促す付録や資
料が掲載されており、国語ということで考えたときに、自己の学びを振
り返り、また記入したりするところがあるというところ、また、学習状
況を実感しながら進めていく工夫がなされているところを評価したいと
思います。また、自分の思いや考え方から学習が出発できるように構成
されている点を評価したいということで、加藤委員が推薦された光村図
書を評価させていただきたいと思えます。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、国語については、「光村図書出版株式会社」という御意見と
「東京書籍株式会社」を評価される御意見もありました。私を含めて採
決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。
「光村図書出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いし
ます。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願い
します。

(賛成者挙手)

廣田教育長 ありがとうございます。
それでは、「光村図書出版株式会社」に決定ということでよろしいでし
ょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、国語については「光村図書出版株式会社」で
採択をします。
次に、書写について御意見ありませんか。

加藤委員 今、国語科が光村図書ということになりましたので、書写についても、
やはり国語の教科書と同じほうが使いやすと思います。書写につきま
しても、光村図書を推薦したいと思えますけれども、その良さとして、

まず習得した書字力というものを生かした課題というのが幾つかあり、学年に応じて多くの学習場面を取り扱っていると思います。例えば、手紙の書き方であったり、横書きやノートの取り方であったり、壁新聞やポスターの書き方など取り扱っている点がいいと思いました。特に、国語科とは、各学年に2教材以上の教科書と連動させて設定してありますし、国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれるよう配慮されていると思います。

それと、今回、硬筆欄というのが新設されています。毛筆で学んだことが硬筆に戻る流れになっておりまして、日常生活と書写の学習が関連のある構成となっていると思いました。

もう1点は、学習の流れが写真でも解説され、スモールステップで学びやすく、教えやすいと思いました。半紙と同じ比率の手本があり、運筆の仕方が朱墨なので、筆の流れが視覚的に把握しやすいこと、それから、書く題材によっては「たいせつ」という項目の欄でポイント確認ができること、豊富なQRコードやエラーモデルの例示で、比較しながら試行できることなどが良さだと感じました。

廣田教育長 ほかにも御意見ありませんか。

塩見委員 ただいまの加藤委員さんの御意見に納得をしました。先ほど、国語の教科書が光村図書に決定しましたし、国語の教科書と同じ発行者のほうが児童にとって理解しやすいのではないかと思いますので、私も光村図書に賛同します。

廣田教育長 ほかにも御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、書写につきましては、お二人から光村図書の良さを述べていただきました。

ほかにも御意見がありませんので、書写については「光村図書出版株式会社」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、書写については「光村図書出版株式会社」で採択とします。

次に、社会の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員 まず、社会科については、各社とも非常に工夫されておられ、特にQRコードについては各社ともいろんなデータを取り集めて工夫されている点については、甲乙つけ難いという感想でした。私が推薦をさせていただくのは教育出版社です。課題解決型学習という形で進められていく、特に身につく学習過程ということで、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」、こういう形で構成されており、その過程がどこを学んでいるかという点においては、それぞれのページでインデックス化されて表記されており、全体としての創意工夫がなされているということで評価をさせていただきます。

また、毎時ですけれども、この時間の問いで学習課題を立てて、その終わりには次につなげようという項目が書かれており、次の時間の問いにつながる構成となっている部分も評価をさせていただきたいと思います。さらに、最近の事例ですけれども、SDGsの姿勢もふんだんに盛り込まれている点についても評価できるということで、私としては教育出版社を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかにも御意見ありませんか。

和田委員 私もただいまの織田委員から意見がありましたように、教育出版株式会社を今から申します5つの視点で推薦したいと思います。まず、1点目でありまして、1単位時間ごとの内容を見開き2ページで構成して、この時間の問い、みんなで作った学習問題、次につなげようなどの問いのつながりが系統的に学習できるように工夫されていて、問題解決的な学習の進め方を、今もありましたけれども「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」として、巻頭で解説し、各ページには何に関わって学習していくのかということが示されている。また、毎時の活動内容を三段階で表示して、見通しをもって学習に取り組めるようにインデックスも設けられていた。2点目でありまして、問題を解決する重要な言葉をキーワードとして取り上げ、本文中に出てくる言葉についても端的で分かりやすい解説がなされていた。3点目でありまして、自分で調べて考えるページが設定されていて、子どもたちの習熟度、興味・関心度によってポイントを手がかりに資料を選ぶ、考察した結果を交流しあう発展学習が想定されている。4点目については、社会的事象について多面的に考える力をつけるため、児童の思考に配慮した学習展開につながっていて、興味・関心を持ち、意欲を持って学習に取り組める工夫がされている。最後になりますけれども、平易な文章表現、キャラクターの吹き出し、解説などから図書の文字、配列に窮屈感がなくて読みやすい。各所にフォントが変えられ、非常に見やすく読みやすかったというのが私の感想でありますし、またダイナミックで楽しい絵画資料で興味が深まったというのも私の印象であります。以上の5点から、教育出版株式会社を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかにも御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 社会については、お二人から教育出版を評価する意見を述べていただきました。ほかにも御意見がありませんので、社会については「教育出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、社会については「教育出版株式会社」で採択をします。

次に、社会・地図の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員 地図に関しては、私としては帝国書院を推薦させていただきたいと思います。特に、初めて地図帳に触れる3年生、4年生への発達段階という部分に関しては、配慮されて記載内容が精選されていると思います。さらに、都道府県の名称や位置が見やすく、分かりやすくなっている点を評価させていただきたいと思います。さらに、色の色調で、土地利用と土地の高さが分かるように工夫されている点でありますとか、先ほどもSDGsという言葉を挙げさせていただきましたけれども、それぞれのページが持続可能な社会の実現に向けた世界各地の課題や取組が理解できるよう新設されている点については評価させていただいて、地図に関しては帝国書院を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 私も同意見でありまして、株式会社帝国書院を推薦したいと思います。理由は、以下の6点でございます。

1点目は、豊かな学びを実現するとして、5つの特色が設定されていて、各学年の発達段階を意識した地図表現がなされた記載内容が精選されている。

2点目でございます。地図帳の使い方の構成が社会科の教科書と同じ項目順に学習できる工夫がなされている。

3点目は、他社にも同様に、授業での働きかけにより、地図の成り立ちや約束を学ぶコーナーがありますが、当社では「地図マスターへの道」があり、行動を促す表現が子どもたちの興味・関心と好奇心を持って行動に移せる表現になっていると思います。

4点目です。インデックス、見出しから学習のポイント、該当学年が学習することであることが理解できる。

5点目であります。地図の縮尺を統一することで、地域同士をわかりやすくしているのに合わせ、私の主観ではありますが、地図の色彩が目に優しく映りました。

6点目です。帝国書院の地図は、子どもたちが興味を示すゲーム性などを取り入れ、楽しみながら学べるものになっています。地図はともすれば社会の、或いは他の教科の副読本的な取扱いをされることが多いように私は思いますけれども、地図科として成り立っている図書になっていることから、帝国書院を推薦いたします。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 地図については、お二人から帝国書院を推される意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、地図については「株式会社帝国書院」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、地図については「株式会社帝国書院」で採択

をします。
次に、算数の採択を行います。御意見ありませんか。

塩見委員

私は、啓林館を推薦します。理由は、主に3つあります。

1つ目は、主体的・対話的で深い学びの実現のために、「めばえ」で生まれた気づきをもとに、「めあて」につなげてまとめをするシンプルな構成になっています。この一連で学び方を学ばせて、学習の見通しが持てる展開にしてあることです。

2つ目が、全ての時間で「めあて」を表示し、主体的に学習に取り組めるようにしてあったり、QRコードの数が豊富で、学習内容の確認や復習が意欲的にできるように工夫してあったりします。

3つ目は、算数資料集に図の書き方や説明の仕方、算数でよく使う考え方などを分かりやすく説明しています。また、思考図として、数図ブロックやテープ図、線分図、数直線図、関係図などを段階的、系統的に扱っています。演算決定に関わる図の系統も示してあります。

ちなみに、調査研究報告の中には、東京書籍の教科書は問題解決型授業を想定した構成・展開になっていること、全学年を通して、無理のないページ数で構成されている点が挙げられていました。

また、学校図書は子どもの思考過程に沿い、細やかな学習展開がなされており、理解力の低い児童には分かりやすいことが挙げられていました。私もこの点はとても良いと納得し、そう思いました。さらに、学校図書には4マス関係表の書き方が示してありました。児童が理解しやすいですが、指導者は研究をしていく必要があると思いました。

私は啓林館を推薦します。

廣田教育長

ほかに御意見ありませんか。

加藤委員

今、啓林館の良さをたくさん述べていただきましたし、各社の特色も塩見委員さんの話を通してよく分かりました。私も啓林館と、それから東京書籍で少し迷っているところがあります。啓林館さんのつまずきやすいところへの工夫と配慮は多岐にわたって見られる点がすごいなと思っていますけれども、単元最後の計算の練習問題等の中に、既習内容を少し応用しなければならないちょっと戸惑うものも一緒に組み込まれているところが少し気になっています。

例えば、3年生の割り算が導入されるつまずきやすい学年ですけれども、東京書籍さんでは、0や1の割り算の項をあえて起こして、 $4 \div 1$ 、 $4 \div 4$ 、そして $0 \div 4$ の場合も考えさせてから、単元最後の練習問題に入るような構成になっています。 $4 \div 1$ とか $4 \div 4$ は九九でできると言われたらそれまでですけれども、やはりつまずきやすい子どもたちの視点に立って、よりスモールステップもあるのかなと東京書籍さんの教科書の中では思いました。それと、単元の始めにどのように分けているのか、どんな計算の場面か、それぞれ問いかけがあるなど考えるというキーワードを発信しているとともに、日常生活と算数を結びつけることを大切にしていると思います。

東京書籍さんの表紙は、全て日常生活で、これは3年生ですけれども、パフェの絵が描いてあります。そういうような算数科とのつながり、それから4年生以上の巻頭の、「私と算数」として著名人のエピソードを扱っているのも日常の中の算数が意識されていると思っています。やは

り日常生活の中の算数っていうのは当たり前のようにもなかなか見えにくさもあったりして、子どもたちは苦手意識を持ちやすいと思いますけれども、いろんな場面でこのような生活との関連性を扱っているのは大事な視点だと感じました。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 ただいま両委員さんが御発言なされましたように、私も図書をどちらかにするか非常に迷いました。迷いましたので、視点を若干変えて、両出版社の図書を比較してみました。

私は、文章問題ができないとかよく言われる算数のつまずきの原因の観点から、両図書を4つの原因を想定して考察しました結果、東京書籍株式会社を推薦したいと思います。

1点目は、計算問題はできるのに文章問題ができない場合、国語的読解力の不足が原因であれば、問題文の内容の表現や絵や図、表などを使って見える化できているかというのが1点であります。

2点目は、数式に表す力が弱いと思われる理解した文章が数式で表せない場合、どんな複雑に見える問題であっても、基本的には足し算、引き算、掛け算、割り算が基礎になっていることから、重点的に反復練習できる図書になっているか。

3点目に、小学校の算数は4年生からレベルが上がると思われます。4年生からできなくなったとの声も聞きます。4年生の内容でつまずくと、そこばかりに目が行きがちですけれども、3年生までに習ったことが基礎となっていることから、3年生までのおさらい、振り返り、それから3年生から4年生への丁寧な接続ができていない図書になっているか。これが3点目であります。

そして、算数が嫌いになるきっかけの要因の1つであります図形や分数の取扱いについてイメージしやすく、丁寧な図形や分数感覚が日常生活に取り入れられている図書であるかを比較し、選考しました。その結果、私は東京書籍株式会社が適当であると思いました。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 私もちょっと揺らいでおります。塩見委員のほうから啓林館という形で推薦をされた意見に同調したい部分もありますけれども、片や学校図書では、塩見委員さんがおっしゃられた4マス関係表の書き方について、昨今、塾で学ぶ子どもたちに配慮して、こういった関係表を用いた教え方をされているようで、児童目線で考えたときには非常に分かりやすい内容のものではないかと思いました。なおかつ、こうした視点で計算に向き合える点は、学習の中で必要ではないかと評価させていただきたいところですが、現時点で啓林館さんか学校図書さんか悩んでおります。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 算数については、各委員から、啓林館、東京書籍、学校図書をそれぞれ評価する意見を述べていただきました。それぞれの特色を考慮していた

だきながら、「株式会社新興出版社啓林館」、「東京書籍株式会社」、「学校図書株式会社」で、私を含めて採決を行いたいと考えますがいかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、3社のうち、1社に挙手をお願いします。
「株式会社新興出版社啓林館」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 「学校図書株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、算数につきましては、3社とも良い点はあるわけですが、「株式会社新興出版社啓林館」に決定ということではよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、算数については「株式会社新興出版社啓林館」で採択をします。
次に、理科の採択を行います。御意見ありませんか。

和田委員 私は、以下の4点から大日本図書株式会社を推薦したいと思います。
1点目は、教科書の表紙にありますように、理科離れが言われる中、大日本の教科用図書は理科の楽しさや面白さが実感できながら、興味を持って学習を進められる、子どもたち目線の工夫が随所にあったように思いました。
2点目ですけれども、理科の学び方は「ココに注目」を示し、大切などころに目を向けさせ、問題を作成させ、「調べよう」で、予想、計画、調べる、記録、そして「伝えよう」で、考え、まとめると見つけ出した問題を観察、実験などを通して、自分の考えを確かにするなど、子どもたちに対する問いかけが有効で、授業を深めるいざないが丁寧に、非常に分かりやすく示されていた。
3点目であります。教科書の紙面が大きくなったことによって、情報量が多くなり、これまで省略されていたような過程も丁寧に扱えるようになってきているし、ダイナミックな写真や構図の採用によって、興味・関心を持たせる図書になっている。また、項番化により、全単元で問題解決の全ての過程を示しているという点が3点目です。
4点目でございますが、今回の各出版社、各教科とも、たくさんのコンテンツが用意されていますけれども、それが授業を進める上で負担になったり、重荷になったりすることがあるように思います。理科という教

科から考えると、観察、実験、用具の使い方等の動画のシミュレーションなど、1,175個の豊富なコンテンツが学習内容を深める、また興味・関心を高めるのに有効であろうと思ましたので、私は大日本図書株式会社を推薦したいと思います。

廣田教育長 ありがとうございます。ほかに御意見ありませんか。

織田委員 私は啓林館を推薦させていただきたいと思います。理由としましては、学習指導要領に示されていない内容の取扱いという部分にちょっと触れさせていただきたいのですけれども、知りたい側が生まれる多様な題材を取り入れている点、それから全単元末に、「くらしとリンク」という読み物教材が掲載されており、コンテンツが非常に豊富に掲載されているところを評価させていただきたいと思います。

また、単元末にまとめノートという欄外に用語の確認ができるチェック欄が載っていたりしており、資料としては災害や環境問題など、現代的な課題が多く取り上げられている点の評価させていただきたいと思います。そういう意味では、表現、表記の工夫もされているというのが私の推薦理由でもあります。

あとは、昨今の教科書も大判のものもありますが、何よりも子どもたちにとって、啓林館さんの場合はA B判サイズになっており、軽量化という意味で非常に評価できるのではないかとこのところ、啓林館さんを推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ここまでで、大日本図書という御意見と啓林館を評価される御意見がありました。ほかに御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、「大日本図書株式会社」と「株式会社新興出版社啓林館」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。
「大日本図書株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「株式会社新興出版社啓林館」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、「株式会社新興出版社啓林館」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、理科については「株式会社新興出版社啓林館」で採択とします。
次に、生活の採択を行います。御意見ありませんか。

塩見委員 私は、生活科では特に、東京書籍と啓林館と光村図書の内容について、調査研究報告を参考に推薦を考えました。3社ともスタートカリキュラムは13ページから16ページまであり、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の発揮場面を挿絵や写真、会話などで示して、他教科との学習のつながりについても示しています。また、様々な活動を通して、自分自身についての気づきが生まれる児童の姿を具体的に示してあります。加えて、特徴として、東書は、単元には春、夏、秋、冬ごとにマークがつけてあります。また、単元扉、導入、学びのプロセス、深い学び、振り返り、表現等、学習過程が展開します。光村は、ヨシタケさんのイラストにより個々の考え方や成長などには相違があり、多様性を認める力を育むことにつながる大事な視点を示してあると思いました。また「ひろがるせいかつじてん」は、児童はもちろんですが、教師にも保護者にも役立つ別冊資料だと思いました。啓林館は、単元を導入・活動・振り返りで展開し、インデックスで明記しています。また、「友達と考えよう」で、話合いのポイントを示し、見つける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するなどの気づいたことを基に考える多様な学習活動を示しています。そして、体験活動と表現活動が繰り返されることで、判断・表現し、気づきの質を高められるようにしています。さらにその質が高まるように、教師の言葉かけや行動、学習環境の例が具体的に示されています。これらの点を総合的に見て、私は啓林館を推薦します。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

和田委員 私も、ただいま塩見委員から御意見がありましたように、株式会社新興出版社啓林館を以下の5点から推薦したいと思います。
まず1点目ですけれども、3つの図鑑が子どもたちの興味・関心を持ち、深い気づきにつなげる学研のライブ編集部とコラボした「びっくりずかん」では、リアルでビジュアルにこだわり、基本的知識、技能、学び方を示した学習図鑑、子どもたちの知りたい興味・関心を深めるデジタル単元ブックが用意されていて、よかったですと思います。
2点目でございますけれども、保護者への話かけ方式で、幼児期に身につけてほしいことや学校の思い、学習へとつながることを分かりやすくスタートカリキュラムとして16ページで巻頭にまとめ、下の巻末にはステップブックを設け、成長の振り返り、3年生以降の展望が保護者や子どもたちに分かりやすくなっている。
3点目は、図書中に学びのキーワードとして、見つける、比べる、試すなど、6種類の気づきの基礎を深める工夫がされている。
4点目は、教師をサポートして、児童の思考を可視化、知識の定着化を図る板書例が多く記載されたり、グループで考えたり、話したりする活動に適した机のレイアウトなども掲示されており、授業づくりのヒントとして活用できることが多く記載されていた。
最後でございますが、単元の振り返りの視点を知識・技能の基礎、思考

力、判断力の基礎、学びに向かう力、人間性など、身につけてほしい資質・能力を示すとともに、単元目標や評価として活用できるようにもなっている。

以上の5点から、啓林館を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかには御意見ありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 生活については、お二人から啓林館を推される意見を述べていただきました。

それでは、ほかには御意見がありませんので、生活については「株式会社新興出版社啓林館」に決定ということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、生活については「株式会社新興出版社啓林館」で採択をします。

次に、音楽の採択を行います。御意見ありませんか。

加藤委員 音楽もちょっと迷いましたけれども、私は教育芸術社を推薦したいと思います。その理由としては、4点あります。

まず、学習活動が学習指導要領に準ずる資質・能力に対応するように構成されています。何を学ぶか、何ができるようになるかの目標設定が明確であって、学習活動を展開するための具体的な手だてが示されていると思いました。

2点目は、題材の狙いに沿って、大変バランスよく歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材が配列されているため、楽しみながら音楽の力を身につけられると思いました。この4つがバランスよく配列されているために、ちょっと教材が多いのではないかという声もあるかもしれませんが、大事な視点だと思っています。

3点目は、鍵盤ハーモニカやリコーダーなど、それぞれの導入学年では、器楽紹介や総合が写真やイラストで大きく丁寧に掲載されています。特に、苦手意識を持ちやすい3年生でのリコーダーに関しては、10ページに及んで扱われているので非常に丁寧だと思いました。

4点目は、楽曲掲載も多く、巻末には振り返りのページとして、学年で学んだ内容や楽典をまとめています。主体的な学びや発展的な学びに対応していると思いました。

廣田教育長 ほかには御意見ありませんか。

織田委員 音楽については、私も先ほど加藤委員から推薦がありました教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。全体として見た場合に、非常に興味・関心が持てる内容で、かつ発展的な内容で学習活動を思考力、判断力、表現方法、知識、それから、技能、歌う、演奏する、作る、それぞれの資質・能力に対応するように構成されており、学習課題を展開するための具体的な手だてが示されているという部分において、学びがつながる題材構成となっているところを評価いたしまして、教育芸術社を推

薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 音楽については、お二人から教育芸術社の良さを述べていただきました。それでは、ほかに御意見がありませんので、音楽については「株式会社教育芸術社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、音楽については「株式会社教育芸術社」で採択とします。
次に、図画工作の採択を行います。御意見ありませんか。

織田委員 図画工作については、日本文教出版社さんを推薦したいと思います。全体的にページの背景の印象がおとなしい表現であり、取扱いやすいのではないかという感じがいたします。それから、目次ではほとんどの題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように、両方の表示がなされている点を評価したいと思います。また、学習指導要領の3つの観点というところで、手のひらのアイコンであるとか、電球のアイコン、笑顔のマーク、そういった各アイコンでイラスト表現されており、非常に分かりやすく、実態に合わせて表現されている点を評価したいと思います。
また、私も物作りに非常に興味がありまして、図画工作で使用するのこぎりにちょっと着目しました。写真や挿絵でのこぎりの扱い方、安全性、注意点について非常に事細かく表現されているところを評価させていただきたいと思います。さらに、QRコードから「みんなの図工ギャラリー」というコンテンツを活用することで、随時更新される全国の児童作品を豊富に鑑賞できるのではないかとこのところを評価しまして、日本文教出版を推薦させていただきたいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

塩見委員 今の織田委員さんの御意見に加えて、私も幾つかの点で、日本文教出版を推薦します。
1つ目は、鑑賞を単独で行う活動と表現も関連づけて行う鑑賞の活動が設定されており、互いの作品や美術作品と関わることができる機会が多く設定してあります
2つ目は、プログラミングやアニメーションなど、ICT機器を活用した活動例が紹介されており、そして、ICT機器を活用する際に必要な情報モラルについて説明する記載があります。
3つ目は、プラスチック成分を大量に使用する題材は別の材料を使用する題材に変更したり、材料の再利用を促す記載がされていたりするなど、資源や環境に配慮してあります。また、1、2年の上巻では、幼児期の造形活動と近い題材設定が多く、低学年では、生活科と関連のある題材事例が多く掲載されているなどの点から、日本文教出版を推薦いたします。

- 廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。
- 全委員 特になし。
- 廣田教育長 図画工作については、お二人から日本文教出版の良さを述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、図画工作については「日本文教出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。
- 全委員 異議なし。
- 廣田教育長 異議がございませんので、図画工作については「日本文教出版株式会社」で採択とします。
次に、家庭科の採択を行います。御意見ありませんか。
- 加藤委員 家庭科につきましては、開隆堂出版株式会社を推薦したいと思います。
理由としましては、4点あります。
1点目は、主体的、対話的な深い学びを実現する3つのステップ「気づく・見つける」「分かる・できる」「生かす・深める」で題材の指導に一貫性があると思います。
2点目は、簡単なものから繰り返していくことで「身につける・できる」を実感する「スモールステップ」の学び方であると思います。
3点目は、調理、製作の手順図がそれぞれありますけれども、子どもたちの視線の動きを考慮して、見開きページを使って、横流れの実習手順になっています。淡いオレンジに白地のユニバーサルカラーや情報が整理されていて、大変分かりやすいと思います。
4点目は、題材数が他社より2、3個多いです。これは主体的、発展的な学びにつながるのではないかと考えました。
以上の理由で、開隆堂出版を推薦したいと思います。
- 廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。
- 和田委員 私も、加藤委員がおっしゃいました開隆堂出版株式会社を5点の理由で推薦したいと思います。
1点目は、主体的、多様な深い学習を実現するために、自分の生活を見つめ、「気づき・見つける」「分かる・できる」「生かす・深める」の3つのステップの繰り返しから学習が成り立っていくことから、子どもはもちろん、指導者も安心して学習が進められるということでもあります。それから、先ほど加藤委員さんからもありましたけれども、調理実習では手順全体の流れが見やすい横流れの写真で掲示されていて、理解しやすいというのが2点目です。
それから、なぜそうしなければならないのかを説明しながら、安全・衛生に注意する点に安全マークを使い、器具の扱い、食物のアレルギー等、丁寧に分かりやすく使われていたというのが3点目です。
4点目に、見て分かる動画コンテンツですけれども、自分の学びを記録するコンテンツ、学びを広げる資料、PDF、触って動かす動作コンテンツがバランスよく用意されていた。
5点目ですけれども、教科書の最後に、自習で気づいたことや用具の使

い方や名前がまとめて記載してあり、すぐに確認できる工夫がされているというような5点から、開隆堂出版株式会社を推薦したいと思います。

廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 家庭については、お二人から開隆堂出版を推す意見を述べていただきました。ほかに御意見がありませんので、家庭については「開隆堂出版株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議ございませんので、家庭については「開隆堂出版株式会社」で採択とします。
次に、保健（体育）の採択を行います。御意見ありませんか。

和田委員 私は東京書籍株式会社を以下の5点から推薦したいと思います。
1点目ですけれども、1単位時間が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップの作りが明確で子どもたちも指導者も分かりやすい。
それから、2点目ですけれども、4つのステップそれぞれに、気づきや学習の記録が図書に直接書き込むことができ、学習の記録が残せ、学習の場が広がる。また、イラストと写真の使い方のバランスがよくて、学習をより身近で自分の生活と関係づけながら進められるものになっている。
3点目は、小単元末ごとに、3，4年生では12個、5，6年生では28個の子どもたちに身につけてほしい事柄にスキルというマークをつけて、命や健康を守る具体的な行動事例を扱っている。
4点目に、本文が分かりやすく簡潔にまとめられていて、図書中の太字の使い方に決まりがあって、子どもたちが意識しやすい。
5点目に、自分の考えや理由を書く欄をたくさん設け、思考力を育成する工夫がされている。そのことで教室を離れての学習場所が広がっていくということで、私は東京書籍株式会社を推薦いたします。

廣田教育長 ほかに御意見ありませんか。

織田委員 私も東書を推薦したいとも思いますが、光文書院を推したいと思います。まず、東書ですが、先ほど和田委員がおっしゃられたとおり、全体として、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップの作り方が明確であり、子どもたちが本書の狙いを取扱いやすく、見通しが持ちやすいと言われる部分について評価したいと思います。さらに、教科書内にも直接書き込める場所が多くて、教科書を活用しながら授業展開が行われる構成になっている部分については評価をしたいと思います。
それから、表現の仕方ですけれども、登場人物や使用されているイラスト等の細かいところまで多様性に今配慮されており、例えば、男の子の裸の表現やLGBTQといった課題に対しても一定の配慮がなされてい

る点を評価したいと思います。

光文書院さんについては、原則見開き2ページで1時間の学習が構成をされており、見つけよう、話し合おう、調べようなど、項目ごとの活動が端的に示されており、学習課題からもまとめに一覧で把握できるような表現になっておりますし、なおかつ二次元コードから動画資料も活用するという点においては、一定の評価がされるのではないかと思います、和田委員が推薦された東京書籍と光文書院さんで迷っているというところで意見を述べさせていただきます。

廣田教育長 ほかには御意見はありませんか。

塩見委員 私は光文書院を推薦します。今、織田委員さんが言われた、光文書院に関わる幾つかの良い点の理由に付け加えて、4点言います。
1つ目は、児童が話し合っって考える活動を多く取り入れています。
2つ目は、各章の扉に4コマ漫画がありまして、学習の道具として、児童の興味を高めたり、問いを持たせたりして、学習に向かわせる工夫をしています。
3つ目は、絵や図、グラフが多く記載されておりますので、視覚的に学習内容を深める工夫がされています。
4つ目に発展では、人との接し方について考えてみようなど、生活の中で生かしたいスキルを掲載していることが理由です。

廣田教育長 ここまで、東京書籍という御意見と光文書院を推される御意見がありました、ほかには御意見はありませんか。

全委員 特になし。

廣田教育長 それでは、「東京書籍株式会社」と「株式会社光文書院」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。
「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「株式会社光文書院」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、保健につきましては「株式会社光文書院」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、保健については「株式会社光文書院」で採択

とします。

次に、外国語科（英語）について確認いたします。

塩見委員

私は特に、東書と三省堂の2社について推薦を考えました。

まず、東書の特徴として、5点挙げます。

1つ目です。どの単元も「慣れ親しむ」「内容の定着」「コミュニケーションを楽しむ」「世界の文化を知る」の4段階の学習展開であること、そして見開き2ページ2時間扱いで、各ページにどの段階の学習なのか明記してありますから、学習の見通しが立ちやすいことです。

2つ目、マイピクチャーディクショナリーでは、学習する単語や文が分野ごとにまとめられていたり、会話文と応答文の両方が詳しく記載されていたりするため、スパイラルな指導ができるとともに、児童は個別に学ぶことができます。

3つ目、文字学習では、文字の視点や書き順、方法が多くのお社は点々で表してありましたが、東書は矢印のような記号で示されていて分かりやすかったです。

4つ目、デジタルコンテンツが多く、アニメーションやモデル映像等の質が高いことです。

5つ目、毎時間、自分の考えを日本語で表現した後、ペアやグループ、クラス発表と段階的に主体性を持って学習に取り組むようになっておりました。しかし、この点については、私は懸念を持っております。それは書く時間が多くなれば、児童の表現力の差により、早くできた児童に待ち時間が生ずるなどの学習時間のロスが生じることです。できるだけ英語の時間は英語のシャワーを浴びる時間を多くしてほしいと思っています。

その点、三省堂は、文字数が少なく、場面や状況の設定が明確で、活動内容が分かりやすいです。そして、大単元の始めには、単元末のゴールが提示され、大きなゴール達成に向けて、各単元の学習を進めていくことができます。また、ユニット始めにゴール達成へ向けて、伝えたいことを整理する欄があり、目的意識が持ちやすいです。そして、単語ゲームで楽しみながら習熟を図ることができます。

2社を総合的に比べました。その結果、東書は、デジタルコンテンツが充実しているので、児童は意欲的に自学・自習しやすいです。また、細やかな一定の指導過程に沿った展開になっておりますので、指導に当たる教師が専科でも担任でも指導しやすいと考えました。よって、東京書籍を推薦します。

廣田教育長

ほかに御意見はありませんか。

加藤委員

私も東書と三省堂で、自分の中でも非常に矛盾が起こるほど悩んでいるところです。

教科書を見ていた段階では、私の中では圧倒的に三省堂さんの良さが非常に目につきました。

今も塩見委員さんからもありましたように、まずシンプルで分かりやすいと思いました。私は、英語科を教えたことのない年代ですが、そういう者にとっても分かりやすいと思いました。初めて教科として学ぶ5年生の最初の題材が三省堂さんの場合、自己紹介をしようで、まずハローから始まり、ゴールは自分の名前、誕生日、好きなこと、この3文で自己

紹介をし合うという大変シンプルなものです。これまで4年生までの外国語活動の中でやってきた部分もあるのかもしれないですけども、このシンプルであるがゆえに、楽しい場面展開や応用もしやすいのではないかと思いますのが1点目です。

2点目は、ユニットの構成も、ホップ、ステップ、ジャンプで図示されていて、視覚的にもスタートからゴールまでの見通しが持ちやすいと思いました。

3点目は、学期途中のステップアップでは、相手とのやり取りを、学期末には発表形式の言語活動が設定されており、目的や場面、状況に応じて話す内容を考えさせることができる構成となっています。

4点目は、先ほどの書き込むことですがけれども、三省堂さんの場合は書き込み欄がそれほど多くなく、その分活動に時間をかけられるのではないかと思います、最初は三省堂を推薦しようと思いました。思いましたが、東京書籍さんのデジタルコンテンツの多さと質の高さというのは、現場の声もありましたし、それから、中学校英語科の課題として、これまでから読み取ることや書くことの課題があって、小学校英語科においても、課題解決のために書く活動が多くなっているのではないかと感じたわけです。

これは中学校の英語の先生にお聞きしたことですけれども、まず日本語で考えて、英語でまとめていくという過程が大切だと言われているので、日本語で自分の考えを書く欄が多くなっているのは、やはりそのためでもあるのかと感じました。

また、先日の新聞にも、全国学力調査の結果が英語科の中で、話すことの正答率が大変低かったと書いてありました。話すと言っても、主張を聞いて、それに対する自分の考えと理由を述べるという問題です。ですから話すだけでなく、まず自分の考えを明確に持つことの大切さが問われていると思います。これが昨今の課題であるということで、自分の考えを書く欄が多いのも、東京書籍さんのそういう見通しがあつてのことかと思つて、最初は三省堂さんと思いましたがけれども、今は東京書籍さんのほうに近づいています。

廣田教育長 ここままで、東京書籍という御意見と三省堂を評価される御意見がありました。ほかに御意見はありませんか。

全委員 特になし。

それでは、「東京書籍株式会社」と「株式会社三省堂」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。
「東京書籍株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

廣田教育長 では、「東京書籍株式会社」に決定ということでよろしいでしょうか。

- 全委員 異議なし。
- 廣田教育長 御異議がありませんので、英語については「東京書籍株式会社」で採択とします。
では最後に、特別の教科道徳についてお願いします。御意見ありませんか。
- 和田委員 私は、光村図書出版株式会社を推薦したいと思います。
理由としては、指導者の経験の長さ、短さに関わることなく、道徳の授業展開がイメージしやすく、児童には見通しが持て、学習の連続性と自分の生活につながる工夫がされている。
それから、道徳の入門期には、道徳の学び方を設け、道徳を学習していく上での常に押さえておかなければならない教材との対話、自分との対話、友達との対話を意識させる教材が描かれている。
それから、道徳で大切な多面的、多角的な見方や考え方で話合いを深めることやコミュニケーションの心得方、対話の練習、各学年話し合うためのコツ、心を通わせよう、考える準備体操が設けられて、互いに意見を出し合えるグループ、学級づくりが描かれている図書である。
それから、各学年、命の尊さの教材を取り扱った後に、「感じよう いのち」のページを設けて、体感、実感を通し、命について考えられるようにしている。
それから、振り返りでは、1時間ごとの振り返りを記録する「学びの記録」を折り込みで用意して、1年から2年は学期ごと、3年から6年は1年間を1枚で見通せるように学びのあとが、子どもたちはもちろん指導者、保護者にもよく分かるように工夫されている。
それから、現代的課題の取組についても、各社配慮されておりますけれども、特に人権の問題、いじめの問題については、視点を明確にして取り扱っている。
最後に、言葉遣いが優しく、丁寧である。ともすれば、教師が教えやすい、導きやすい道徳の図書が選ばれやすいですけれども、本来道徳が持つ子どもたち自身が様々な角度から考え、方向を見出していく、その趣旨から、私はこの光村図書出版株式会社の図書を推薦いたします。
- 廣田教育長 ほかに御意見はありませんか。
- 加藤委員 私は、色々迷いましたが、光文書院を推薦したいと思います。理由は、4点あります。
まず、感動的な読み物教材というのは、たくさん使われているわけですが、それ以上に光文書院さんの場合、実話に基づく教材が多く取り入れられているので、日常生活にもつながりやすく、自分ごととしても考えやすいのではないかと考えました。
2点目は、登場人物の気持ちの描写が極力避けられていると思っています。例えば、主人公が最終的な文末のほうで、私はうれしくなりましたとか、私はこのように思いましたとか、そういう文章表現の描写が極力避けられているので、問題解決型の終わり方になっています。ですから、議論できる道徳教材になっていると思います。
発問例についても4つありますけれども、展開過程では2つです。1つは内容把握のもの、もう1つは主人公の心の変化を問うもので、これは

内容理解には欠かせないものであると思われました。文章のみを扱う道徳科においても、指導の助けになるのではないかと思います。

3点目は、各学年の発達段階に応じたレジリエンスのページを設けてありまして、自分の心の力について考えられるのは、昨今の課題であるいじめ、不登校のメンタルヘルスの予防にもつながると思われました。

4点目は、35教材全てであります。1年生は34教材ですけれども、35教材用意されており、プラスして付録5教材の計40教材を全学年採用しています。これは色々と発展的なこともあります。地域教材とも置き換えの余地があって、幅広い指導ができると感じています。

廣田教育長 ほかにも御意見ありませんか。

塩見委員 和田委員さんと加藤委員さんの意見を聞きながら、私はもう一つ、東書と光文書院と迷っているところはあります。

光文書院については、先ほど言われた推薦の理由のほかに2つあります。1つは、児童に特に考えさせたい内容を重点主題として丁寧に扱っていました。

もう1つは、QRコードのついた教材で登場人物のメッセージ動画や学習サポートをする動画などが視聴できることです。ただ、先ほどもありましたが、発問が細かい。この発問に関して言えば、光村と同じように、東書は、教材の最後に道徳的価値に迫る発問と、自分を振り返り、これからの生き方に生かしていくための2つのシンプルなものとなっております。主体的、対話的に学習は進めやすくなっていると思われました。また、東書は、登場人物の心の中を説明する文言が意図的に削除されておりまして、多様な感じ方、考え方により、思考は広がるだろうと考えました。この東書のシンプルさは、対話的で深い学びにつながるだろうとも思います。

しかし、先ほどもありましたが、教師経験には差があります。考え方も様々違いもあります。細かな指導過程で細かな発問をして、違いに迫る設定をしている光文書院が良いと皆さんの考えを聞きながら、今は思っています。

廣田教育長 ここまで、光村図書という御意見と光文書院を推される御意見がありましたが、ほかにも御意見はありませんか。

全委員 特になし。

それでは、「光村図書出版株式会社」と「株式会社光文書院」で、私を含めて採決を行いたいと考えますが、いかがですか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 では、どちらかに挙手をお願いします。

「光村図書出版株式会社」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 次に、「株式会社光文書院」が適当であると思われる方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

廣田教育長 それでは、「株式会社光文書院」に決定ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、道徳については「株式会社光文書院」で採択とします。
これで令和6年度以降使用小学校教科用図書について、全て採択が終わりました。
最後に、採択しました教科書の確認をさせていただきます。
国語と書写は「光村図書出版株式会社」、社会は「教育出版株式会社」、
地図は「株式会社帝国書院」、算数、理科、生活は「株式会社新興出版社啓林館」、
音楽は「株式会社教育芸術社」、図画工作は「日本文教出版株式会社」、
家庭は「開隆堂出版株式会社」保健(体育)は「株式会社光文書院」、
外国語科(英語)は「東京書籍株式会社」、特別の教科道徳は「株式会社光文書院」
で採択いたしました。
以上のおおりに、令和6年度以降使用小学校教科用図書について決定しましたが、
議決ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

廣田教育長 異議がございませんので、議決とさせていただきます。

3 閉会

廣田教育長が閉会を宣言。